

(案)

令和4年3月 日

印西市長 板倉 正直 様

印西市水道事業運営審議会
会長 熱田 照夫

印西市水道事業経営戦略の改訂について (答申)

令和3年10月29日付け印西水第505号で諮問のありましたこのことについては、下記のとおり答申します。

記

- 1 印西市水道事業経営戦略【改訂版】(案)については、妥当と判断します。
- 2 霞ヶ浦導水の整備による受水費の変動などの状況の変化については、具体的に検討できる状態となったときに、速やかに経営への影響を検証し、必要に応じて経営戦略を見直すことを要望します。
- 3 この改訂版経営戦略の計画期間中において将来を見据えたうえで必要な更新事業の実施により、令和13年度から収支不均衡となるため、令和13年度と5年後の令和18年度に料金改定を見込み収支の均衡を保つ設定としているが、料金改定は、市民生活や経済活動に大きな影響を与えるものであることから、実施に当たっては十分検討した上で、水道使用者の理解と同意が得られるよう積極的な広報活動と十分な説明責任を果たすことが必要であると考えます。
- 4 印西市水道事業は、90%以上を用水供給事業からの受水に頼っており、受水単価が高額なため、一般会計からの補助金がなくては経営が成り立たない厳しい経営環境にあることは理解しますが、今後は、更なる経営努力を行いながら、将来像である安全で良質な水を供給し続ける水道の実現に努めていただくことを要望します。